

Futaba

SkyLeaf Samba

スカイリーフ・サンバ <55インチモータークラス>

上級者向け電動RCアクロプレーン



組立説明書

1M23N28805

このたびは スカイリーフ・サンバ RC プレーンをお買い上げいただきまして
誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この組立説明書をお読みのうえ、正しく組立て安全にお楽しみください。
また、お読みになられたあとも大切に保管してください。

⚠ 危険

❗ 組立について

この製品は完成機ではありません。お客様自身で正しく正確に組み立て自己の責任にて安全にお楽しみください。組立不良による事故に関しては弊社は一切責任をおいませぬ。

❗ 飛行について

この飛行機はラジコン飛行機の組立、飛行を十分マスターした上級者が対象となっています。未経験の方には組立や飛行することができません。未習熟の方の飛行中の事故に関しては弊社は一切責任をおいませぬ。

❗ アクロフライトについて

この飛行機は高度なアクロフライトができるように、舵の面積が大きく、舵角も多くとれるようになっています。アクロフライトは、はげしい動きで、予期せぬ失速がおきる危険性があります。また、舵角を大きくすると、ニュートラルの保持力が低下して、高速飛行時にフラッターが起きやすくなります。アクロフライトは、飛行技術がある方が、人や建物・自動車などに被害がおよばない安全な場所で、操縦者自身もヘルメット、防護メガネを付けるなど十分安全に考慮して、自己責任にてお楽しみください。

❗ 機体の強度について

この飛行機は飛行性能を向上させるために、極力軽量化しています。そのため機体強度は最低限となっています。機体を強く握ったり、うえにものを乗せたりすると破損することがあります。機体の取扱いには十分な注意が必要です。

✂ 飛行のために必要な物

このセットは、飛行機の半完成キットです。飛行するためには RC 送受信機・RC 飛行機用モーター・バッテリーや充電器などが別に必要です。また組立には接着剤や工具が必要です。この説明書にしたがってそろえる必要があります。

✂ 機体の精度について

この飛行機は半完成キットのため、若干の寸法誤差があります。組み立てには多少の加工や調整が必要になります。また、フィルムは温度、湿度などによってシワ、はがれがおこる場合があります。

用途、改造等に関するご注意

1. 模型用以外に使用しないで下さい。

本説明書に記載されている製品は、用途が模型用に限定されております。

2. 改造、調整、部品交換した場合のご注意




本製品を弊社以外で改造、パーツ交換などの手が加えられた場合、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載しないでください。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容は万全を期して作成していますが、万一不明な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがありますのでご了承下さい。

安全にお使いいただくために

表示の意味

本書の中で次の表示がある部分は、安全上で特に注意する必要のある内容を示しています。





表示	意味
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される場合。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。または、軽傷、物的損害が発生する可能性が高い場合。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者または他の人が重傷を負う可能性は少ないが、傷害を負う危険が想定される場合。ならびに物的損害のみの発生が想定される場合。

図記号：  ； 禁止事項

 ； 必ず実行する事項









動力用リチウムポリマーバッテリーに関する注意事項

危険




-  購入されたバッテリーメーカーの安全に関する注意事項をよくお読みください。
-  一般にリチウムポリマーバッテリーは、墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合に発火する可能性があります。
-  墜落や衝突の際に使用していたリチウムポリマーバッテリーは再使用しないでください。
-  墜落や衝突などで機体に強い衝撃が加わった場合は、すぐに機体からバッテリーを取り外して防火できる場所に保管してください。

組立時の注意
















危険

-  組立説明書にしたがって正確に組み立てる。
 - 組立不良や改造をすると空中分解や墜落する危険性があります。
-  重心位置は指定の範囲内にする。
 - オモリなど使用して必ず指定の範囲内にしてください。指定範囲をはずれると不安定になり墜落します。
-  各舵の動作方向を十分に確認する。
 - 舵の動作方向を間違えると操作不能で墜落します。
-  モーター・プロペラ・バッテリーは指定の範囲内のものを使用する。
 - 指定外のものを使用すると操縦不能や空中分解で墜落します。
-  機体のねじれや曲がりは修正する。
 - ねじれたり曲がったりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
-  リンケージは軽くスムーズにひっかかりのないようにする。
 - リンケージが渋かったりひっかかりたりしたまま飛行すると操縦不能で墜落します。
-  エンジンは搭載しない。
 - この機体の動力はモーター専用です。エンジンを搭載すると振動などにより破損・墜落します。
-  主翼をカンザシパイプに挿しこむときは、まっすぐに挿入しムリにこじ入れない。
 - 曲がった状態でムリに差し込むと翼内部が破損し空中分解して墜落します。

警告

-  小さなお子様のいる場所での組立はしない。
 - 小さな部品やビニール袋などをくちにいれる危険性があります。
-  換気の悪い場所で接着剤や洗浄剤を使用しない。
 - 中毒になる危険性があります。
-  カッターやドリル、キリ、ニッパー、はんだコテ、アイロン、ドライヤーなどを使用する場合は、けがやヤケドに十分に注意する。
 - 組立には工具が必要です。危険なものもありますので十分注意してください。

⚠ 危険

-  周囲の電波の影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや使用中にこのような状況がある場合は使用を中止する。
-  操作中、送信機を他の送信機や携帯電話等の無線装置に接触させたり近づけたりしない。
■誤動作の原因となります。
-  雨の日、風の強いときや夜間は絶対に飛行させない。
■機体内部に水が入り空中分解したり、操縦不能となったり、見失ったりして墜落します。
-  フックバンドを首にかけたままで、モーターのスタート操作をしない。
■フックバンドが回転するプロペラへ吸い込まれると大ケガとなります。
-  疲れているとき、病気のとき、酔っぱらっているようなときは飛行させない。
■集中力を欠いたり、正常な判断ができないため思わぬ操作ミスをおかして墜落します。
-  次のような場所では飛行させない。
 - ・人の近くや上空
 - ・家屋、学校、病院などの人の集まる場所の近く
 - ・高圧線、高い建造物または通信施設の近く■電波の混信や障害物などにより墜落したり、万一、プロポや機体の故障により墜落した場合、人命を奪ったり、家屋等の損傷をひきおこします。
-  安全のため、常に機体が視認できる状態で飛行する。
■建物等の大きな障害物の背後への飛行は見えないばかりでなく、通信品質も低下し機体のコントロールができなくなる恐れがあります。
-  飛行前には必ず機体の点検を実行する。
■機体、プロポ等のどこかに一つでも異常があれば墜落します。
*毎回飛行前に、機体各部の点検をおこなってください。各舵を動作させてみて、各舵が追従動作することを確認します。追従動作しない場合や異常な動作をする場合は飛行しないでください。
-  安全上、必ずフェイルセーフ機能の設定を行なう。
■スロットルのフェイルセーフ設定は通常の場合最スローになるように設定します。また、状況に合わせて安全な位置に設定してください。正しく電波を受信できなくなった場合に、フルハイで墜落すると大変危険です。
-  使用中、使用直後には、モーター、FET アンプ等には触れない。
■高温になっているためヤケドします。
-  <電源スイッチを入れるとき>
送信機のスロットルスティックを最スローの状態とした後、
 1. 送信機の電源スイッチを入れてから
 2. 受信機側の電源スイッチを入れる
-  <電源スイッチを切るとき>
モーターを停止させた後、
 1. 受信機側の電源スイッチを切ってから
 2. 送信機の電源スイッチを切る■操作の順番を逆にすると、不意にプロペラが回転し、ケガをします。
*最スロー：モーターがストップする方向。
-  機体やプロポの調整を行うときは、必ず、モーター配線ははずして行う。
■不意にプロペラが回転した場合ケガをします。
-  急降下などで機体のスピードを上げすぎない。
■高速になりすぎるとフラッターで機体が破損し墜落します。
-  高速時に急なエレベーター操作をしない。
■失速して操縦不能になります。また、過度のGがかかり空中分解して墜落します。

- ⊘ 過度の低速状態にしない。
■失速して操縦不能になり墜落します。
- ⊘ 人や建物・自動車に向かって飛行しない。
■激突して死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
- ⊘ 回転中のプロペラの前方や側面に、手や体を置かない。
■プロペラが破損した場合、死亡や大ケガ、器物破損のおそれがあります。
- ⊘ プロペラの回転面に、手や体を置かない。
■プロペラに触れた場合、死亡や大ケガのおそれがあります。



保管・廃棄時の注意

⚠ 警告

- ⊘ 機体・バッテリー等を幼児の手の届く所に放置しない。
■触って作動させたり、電池をなめたりすると、ケガをしたり、化学物質による被害を受けます。
- ⊘ 機体・バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしない。また、分解したり、改造したりしない。
■破裂、異常発熱、漏液、有毒ガス等により、ケガ、ヤケド、失明等をします。

⚠ 注意

- ⊘ 機体は次のような場所に保管しない。
 - ・極端に暑いところ (30℃以上)、寒いところ (-10℃以下)。
 - ・直射日光があたる場所。
 - ・湿気の多いところ。
 - ・振動の多いところ。
 - ・ほこりの多いところ。
 - ・蒸気や熱があたる場所。
■上記のようなところに保管すると、変形や故障の原因となります。
■暑い日に日の当たる場所に機体を置いておくと、キャンピーが変形したり、フィルムにシワが発生したりします。機体は日陰に置くようにしましょう。
- ⓘ 長期間使用しない場合は、乾電池・バッテリーを送信機や機体から取り出して、湿気の少ない場所に保管する。
■そのまま放置すると、電池の漏液により、機体の性能や寿命を低下させます。
- ⓘ 機体の上にものを乗せたり、ストレスのかかる状態で保管しない。
■この飛行機は飛行性能向上のため強度は最低限となっています。上にものを乗せたり、ストレスがかかると、変形したりネジが発生して操縦不能になります。



その他の注意

⚠ 注意

- ⊘ 燃料、廃油、排気等を直接プラスチック部分にかけない。
■そのままにしておくと、プラスチックが侵され、破損します。
- ⓘ 送信機、受信機、サーボ、FET アンプ、その他オプションパーツは、必ず指定範囲内の組み合わせで使用する。
■指定範囲外の組み合わせにより発生した損害等につきましては、当社では責任を負いません。たとえば指定より大きなモーターを搭載すると、機体バランスが損なわれ、不安定になったり、過速度により空中分解したりします。必ず取扱説明書に記載されている範囲内のものを使用してください。
- ⓘ この飛行機の材料は可燃物が多く使用されています。火災には十分ご注意ください。
■飛行時以外は必ずバッテリーをはずし、火気のないところに保管してください。
- ⓘ ラジコン保険に加入する。
■ラジコン保険の加入申し込みはラジコン操縦士登録代行店に問い合わせてください。

✖ 1 キットのほかに必要なもの



- 4チャンネル以上の空用送信機 / 受信機 (Futaba 6J、8J、14SG などの T/R セット)
- (サーボなしセットの場合はサーボ 4 個)
- 受信機用バッテリー (Futaba FR2F800 など)
- サーボ用延長コード (配線例参照)
- 55 インチクラスのモーター (Futaba FMA-5055KV525 など)
- モーターコントローラー (Futaba MC970A など)
- 動力用リチウムポリマーバッテリー (5 セル 3500 ~ 4500mAh)
- リチウムポリマー用充電器
- プロペラ (16 × 8 ~ 17 × 8)
- スピンナー (51 mm)



- カッター
- ニッパー
- ラジオペンチ
- ハサミ
- プラスドライバー
- 六角ドライバー
- キリ
- ドリル (2.2mm, 2.4mm, 4mm)
- アイロン
- ヒートガン
- テープ
- マジックテープ
- 低粘度瞬間接着剤
- マジックペン
- 金ヤスリ
- サンドペーパー



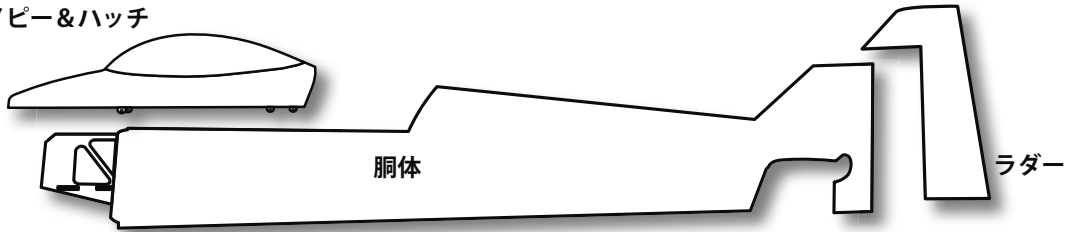
スカイリーフ ワンポイントアドバイス

スカイリーフは尾翼部にサーボが 2 つ搭載される。S.BUS フロボは配線処理がスッキリするからオススメだよ！

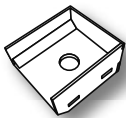
✖ 2 キットに付属しているもの

キャノピー&ハッチ

カウリング



モーターマウントプレート



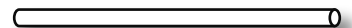
Lアングル



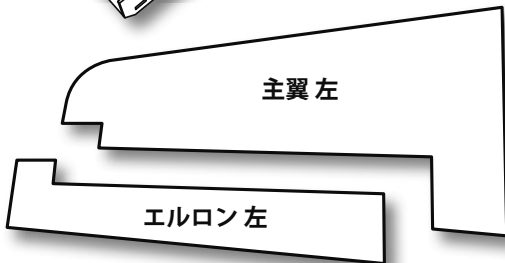
尾部カバー



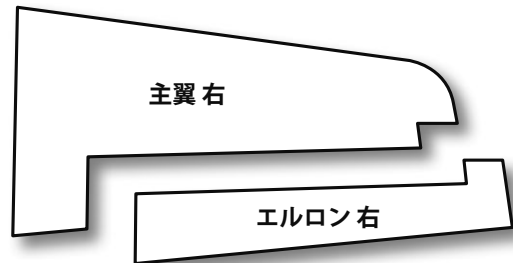
主翼カーボンカンザシ



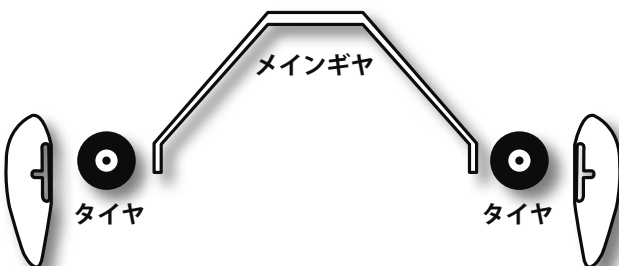
主翼左



主翼右



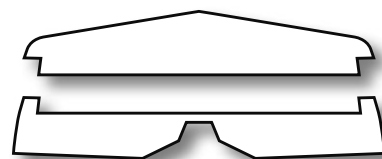
メインギヤ



ホイールパンツ 左

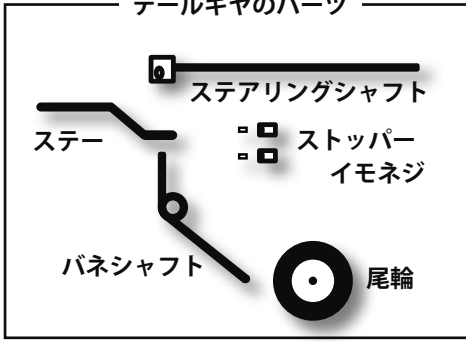
ホイールパンツ 右

水平尾翼

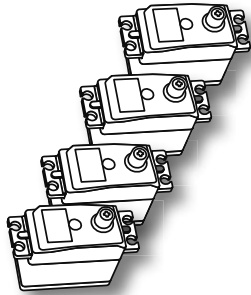


エレベーター

テールギヤのパーツ

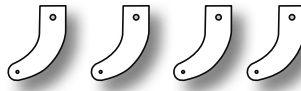


木製ワッシャー

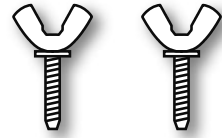


サーボ (S3072HV)+ ホーン袋詰め
※サーボ付セットの場合

コントロールホーン



ウイングボルト



ペーパーヒンジ 20 枚 (3 枚予備)



196mm ロッド (ラダー用)



70mm ロッド (エルロン用)



70mm ロッド (エルロン用)



44mm ロッド (エレベーター用)



注! ロッドの長さは調整が必要な場合があります。もしも、長い場合は、カットしてください。

ステッカー

ビス・ナット・ワッシャ類

2×6 タッピング ×6

2.6×12 タッピング ×16

3×15 タッピング ×6

3.5×12 タッピング ×4

2×9 六角 ×10

3×10 六角 ×4

4×35 六角 ×2

ボールリンク ×10

2mm ナット ×10

3mm ナイロンナット ×6

4mm ナイロンナット ×6

3mm ワッシャ ×11

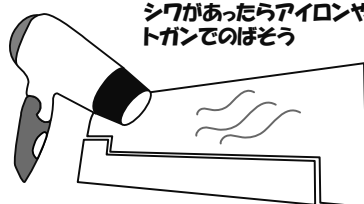
4mm ワッシャ ×6

※ビス・ナット・ワッシャ類は余分に入っている場合があります。



スカイリーフ ワンポイントアドバイス

シワをピシッと伸ばすとフライトがピシッとすよ

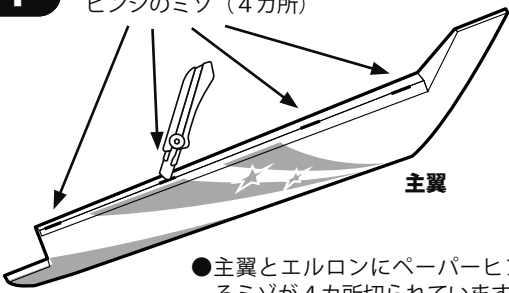


シワがあったらアイロンやヒートガンでのぼそう

✂ 3 主翼の製作

1. エルロンの取付 左右の主翼にエルロンを取付けます。

1 ヒンジのミゾ (4カ所)

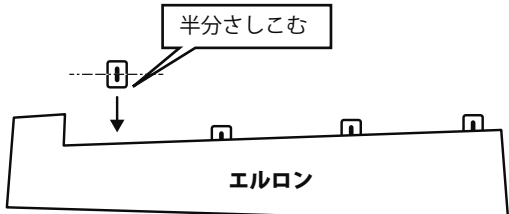


主翼

- 主翼とエルロンにペーパーヒンジが入るミゾが4カ所切られています。スムーズにヒンジが入るようにカッターの刃でミゾをひろげます。

2 ●エルロンにペーパーヒンジを4カ所さしてこみます。

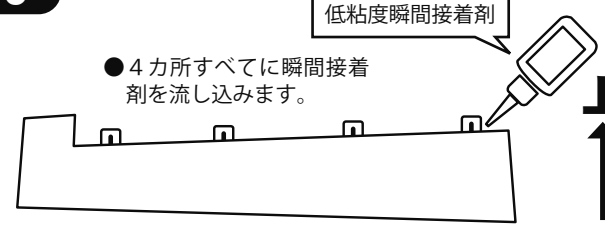
半分さしてこむ



エルロン

3 ●4カ所すべてに瞬間接着剤を流し込みます。

低粘度瞬間接着剤

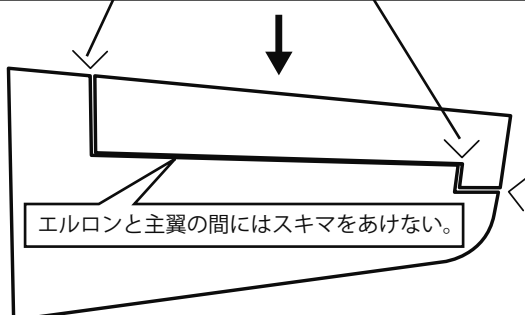


上

▲ 確実に奥までながしこみます。粘度の高い(ネットリした)瞬間接着剤は使用しないでください。
■飛行中にはずれると操縦不能で墜落します。

4 ●完全に接着が乾燥してから主翼にエルロンを差込みます。
注! デザインをみて主翼とエルロンの表裏を間違えないように注意してください。

ここにはスキマがありません。左右のスキマを均等にあわせませす。

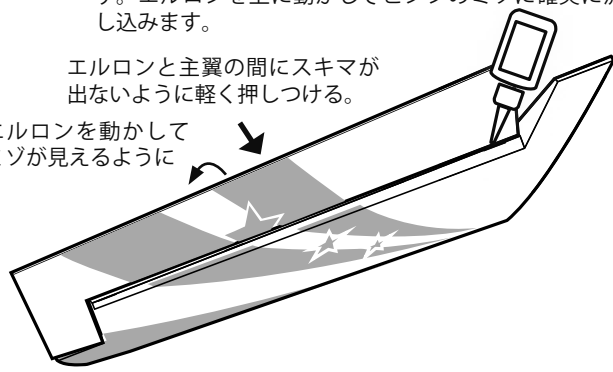


エルロンと主翼の間にはスキマをあけない。

5 ●主翼にさしこんだヒンジ4カ所に瞬間接着剤を流します。エルロンを上動かしてヒンジのミゾに確実に流し込みます。

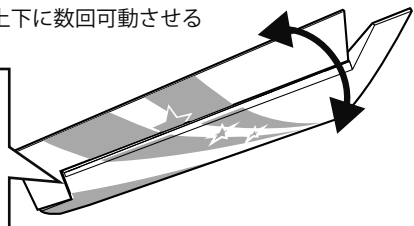
エルロンと主翼の間にスキマが出ないように軽く押しつける。

エルロンを動かしてミゾが見えるように



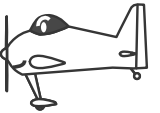
6 ●接着剤乾燥後にエルロンを上下に可動させます。はじめは動きがしぶいですが数回上下させるとスムーズに可動するようになります。エルロンがぬけてしまう事のないように、しっかりチェックしてください。

上下に数回可動させる

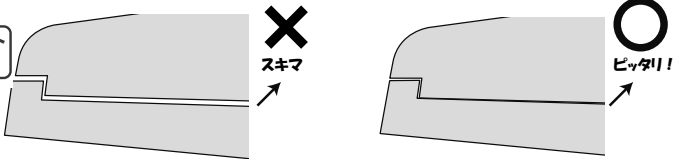


注! エルロン両端と主翼があたっているとエルロンの動きが渋くなってしまいます。両端にはスキマが必要です。

●同じ作業で左右の主翼にエルロンを取付けます。



スカイリーフ ワンポイント アドバイス



スキマ

ピッタリ!

動舵のスキマをなくすとキレ味のいいフライトができるよ!

2. エロンサーボの取付 左右の主翼にエロンサーボを取付けます。

1

- エロンサーボの穴とコントロールホーンの穴がフィルムの下の木地にあります。その部分のフィルムをカットします。(透かすと見えます。)

2

はんだコテ

- 木地の穴にそってはんだコテをあてると、簡単に穴あけができて、きりくちのフィルムもはがれにくくなります。

3

- エロンに使用するサーボ 2 個に **100mm の延長コード (別売)** をつけます。

延長コード 100mm

抜け防止のためテープを巻きます。

4

- すべてのサーボにラバーグロメットとハトメを図のようにとりつけます。

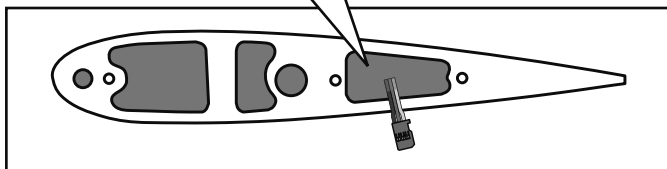
木ネジ
ラバーグロメット (ダンパー)
ハトメ
サーボマウント

5

- サーボマウントにキリで下穴をあけて、サーボに付属しているタッピングビスでサーボをとりつけます。

- サーボの向きに注意! サーボホーンが前縁側

- リード線は主翼内部を通して翼根の最後部の穴からだします。



6

- コントロールホーンの舵に挿入する部分を、先にサンドペーパーであらします。(接着強化のため)

- 下図のように位置を調整したあとで、低粘度瞬間接着剤でコントロールホーンを接着します。

- コントロールホーンの取付穴とヒンジラインが下図のように直角になるようにします。

翼 動翼

- 各舵がニュートラルの時のホーン穴と翼表面までの距離です。
エロン→ 12 mm
ラダー→ 14mm
エレベーター→ 12mm

7

- ラダーにも同じ手順でコントロールホーンを接着しておきます。

ラダー

8

- サーボを受信機につないでプロポの電源をいれニュートラルにします。ヒンジラインに平行になるようにサーボホーン E の使用する足をえらびます。いらぬ足はニッパーでカットします。図のようにリンケージしてサーボのニュートラルでエロンがまっすぐになるように**ロッドの長さ**を調整してください。

サーボホーン E

2 mm ナット

2 × 9 六角ネジ

ボールリンク

70mm ロッド

ボールリンク

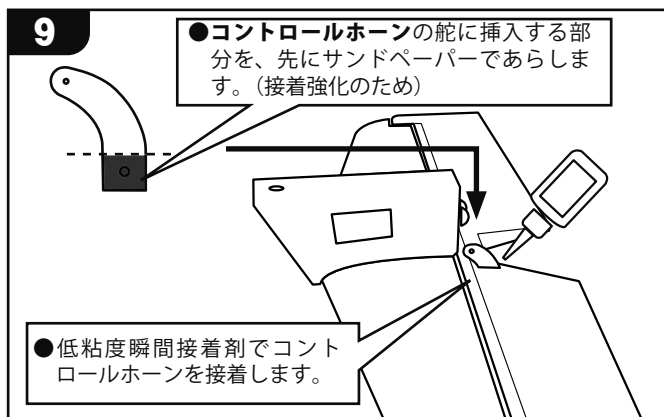
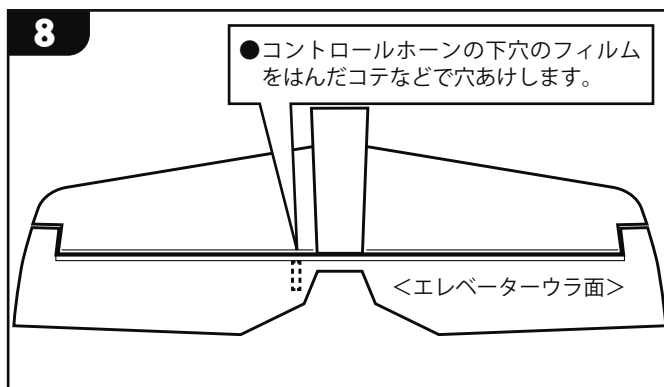
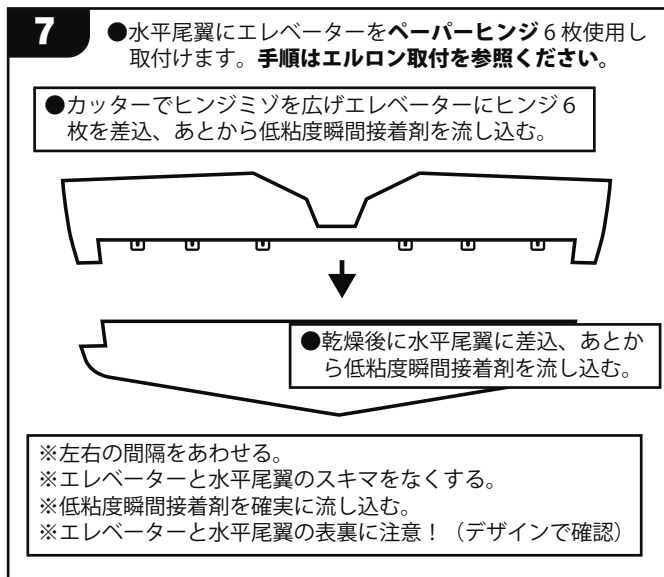
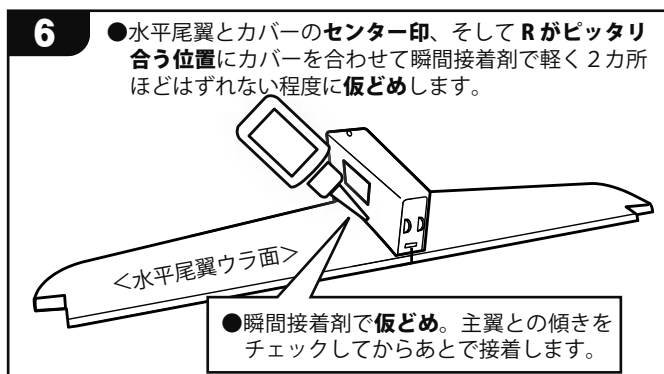
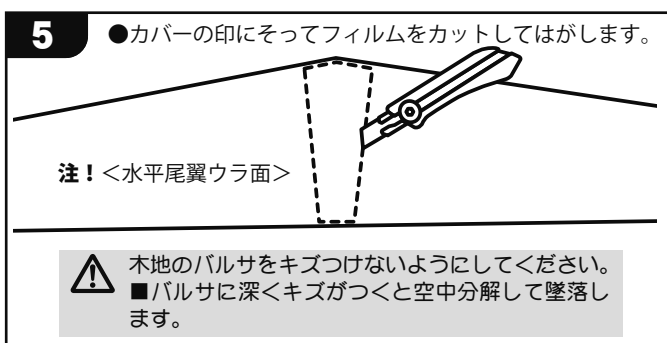
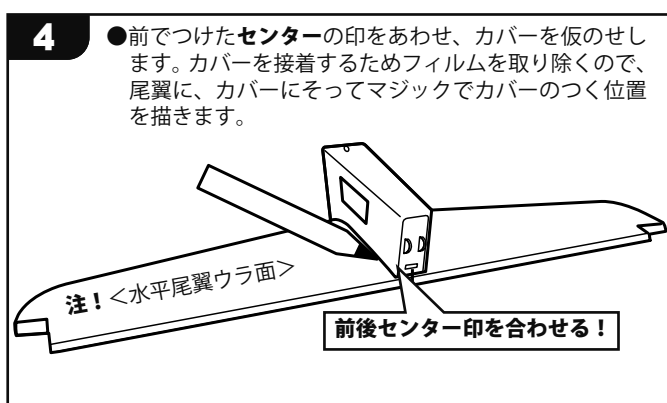
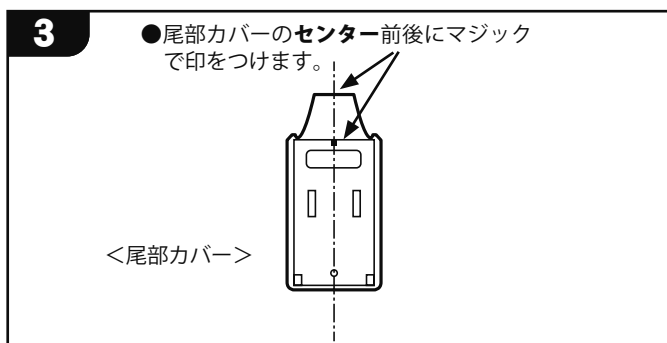
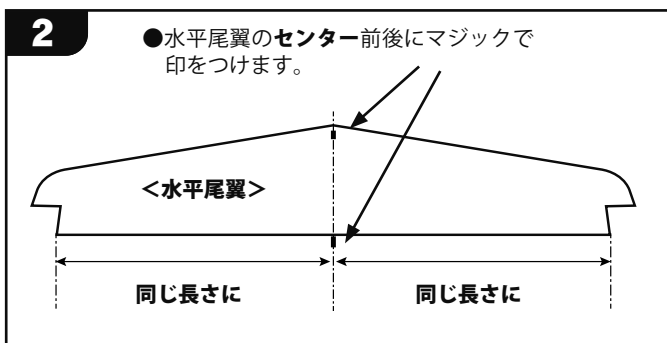
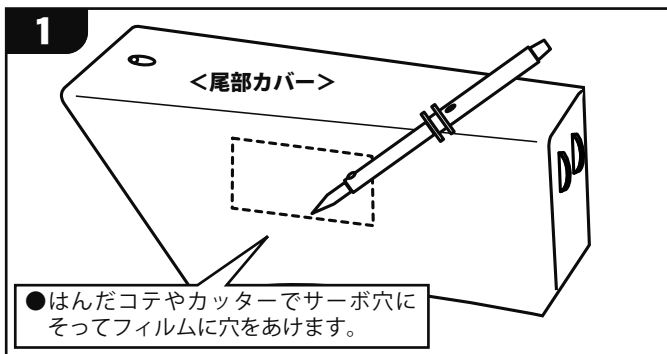
2 × 9 六角ネジ

2 mm ナット

- 同じ作業で左右の主翼にサーボを取付けます。

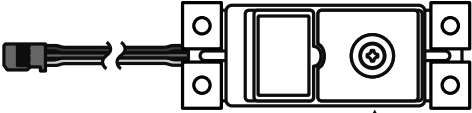
4 水平尾翼の製作

1. 水平尾翼に尾部カバー・エレベーターを取付ける。



2. エレベーターサーボの取付 - エレベーターサーボは尾部カバーに取り付けます。

1 ● S.BUS 接続する場合



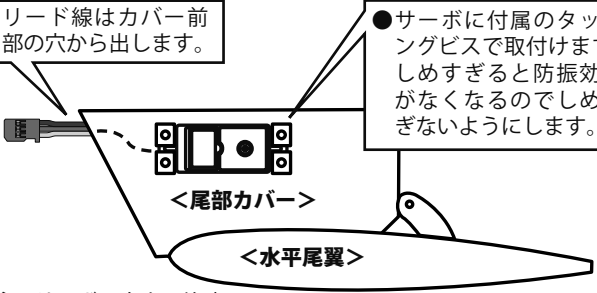
● S.BUS を使用する場合、エレベーターサーボは 2CH、ラダーサーボは 4CH に CH 設定します。

● 14SG・18MZ をおもちの方は送信機にバッテリーとサーボを接続して CH 設定できます。8J など S.BUS 接続する場合は SBC-1 (別売) で CH 設定します。

2 ● サーボマウントに下穴をあけて、サーボに付属のタッピングビス 4 本でサーボを取付けます。

リード線はカバー前部の穴から出します。

● サーボに付属のタッピングビスで取付けます。しめすぎると防振効果がなくなるのでしめすぎないようにします。



<尾部カバー>

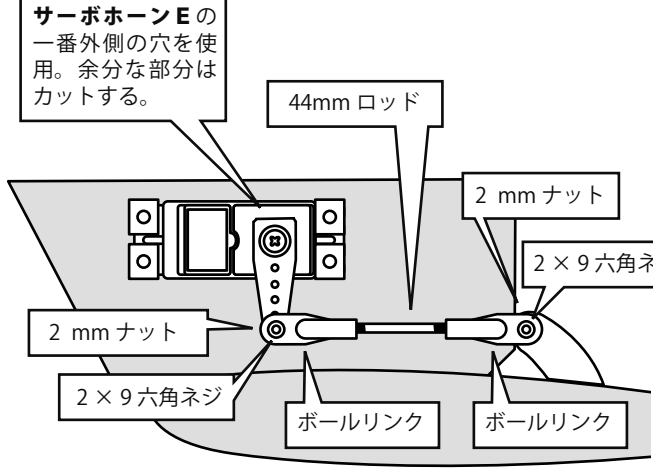
<水平尾翼>

注！サーボの向きに注意

3

● エレベーターのリンクージュを行います。サーボを受信機に接続してニュートラルの状態にし、エレベーターがまっすぐになるようにロッドの長さを調整します。

サーボホーン E の一番外側の穴を使用。余分な部分はカットする。



44mm ロッド

2mm ナット

2x9 六角ネジ

2mm ナット

2x9 六角ネジ

ボールリンク

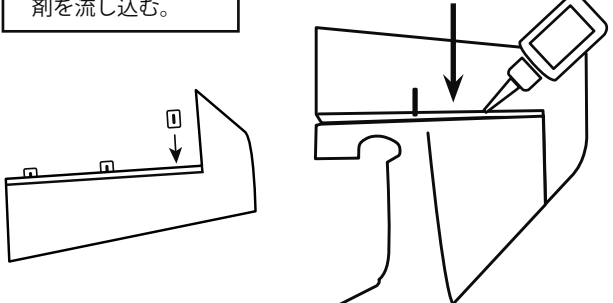
ボールリンク

5 ラダーの製作

1 ● ラダーにペーパーヒンジを使って垂直尾翼 (胴体と一体) に取付けます。手順はエルロン取付を参照ください。

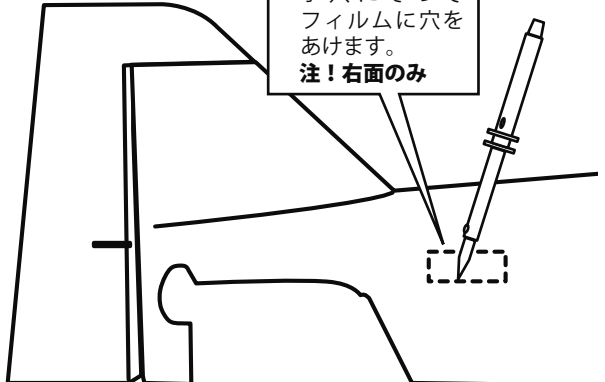
● カッターでヒンジミゾを広げラダーにヒンジを差込み、あとから低粘度瞬間接着剤を流し込む。

● 乾燥後に垂直尾翼 (胴体) に差込、あとから低粘度瞬間接着剤を流し込む。



2 ● 胴体右側のラダーサーボマウントのフィルムをカットしてはがします。

● はんだコテやカッターでサーボ穴にそってフィルムに穴をあけます。注！右面のみ

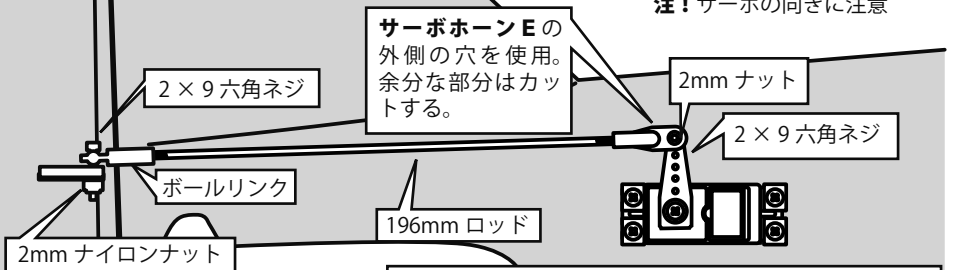


3

● サーボを搭載してラダーのリンクージュを行います。サーボを受信機に接続してニュートラルの状態にし、ラダーがまっすぐになるようにロッドの長さを調整します。

注！サーボの向きに注意

サーボホーン E の外側の穴を使用。余分な部分はカットする。



2x9 六角ネジ

2mm ナット

2x9 六角ネジ

ボールリンク

196mm ロッド

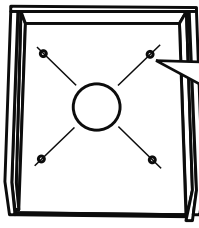
2mm ナイロンナット

● サーボマウントに下穴をあけて、サーボに付属のタッピングビス 4 本でサーボを取付けます。

6 モーターとカウリングの取付

1

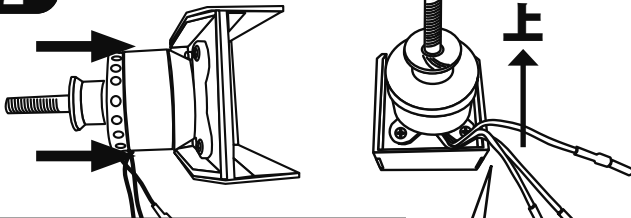
- モータープレートに使用するモーターを仮のせて、ビス穴4つの印をつけて下穴をあけます。



<モーターマウントプレート>

- **Futaba FMA-5055KV525 モーター** (別売) を使用する場合は、はじめから穴位置の目安が印されています。目安ですので現品で確実に合わせてください。

2

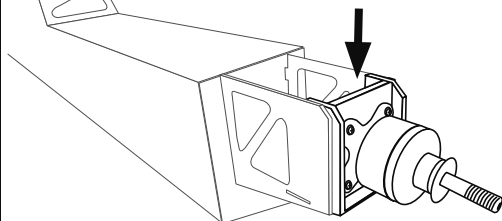


- ご使用のモーター (別売) に合わせて適切なタッピングビス4本を用意して取り付けてください。(Futaba モーター用に **3.5 × 12 タッピングビス** 4本が付属しています。)

- モーター配線は下になるように取付けます。

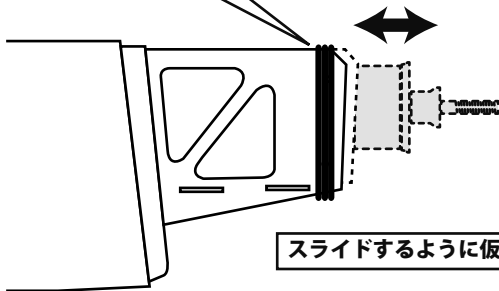
3

- モーターマウントを胴体にのせます。上から挿入し胴枠ではさむようにはまります。



4

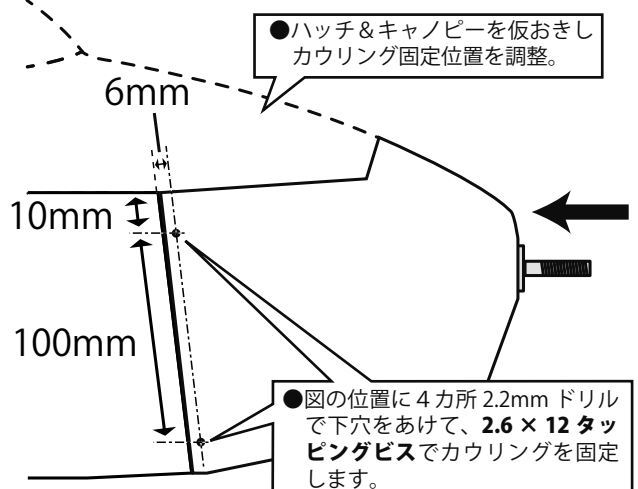
- セロテープや輪ゴム数本で胴枠をしめて、モーターマウントが前後にスライドする程度に仮固定します。



スライドするように仮固定

5

- カウリングを前方からはめ込みます。その際ハッチを仮おきしてカウリングとのスキマを確認しておきます。

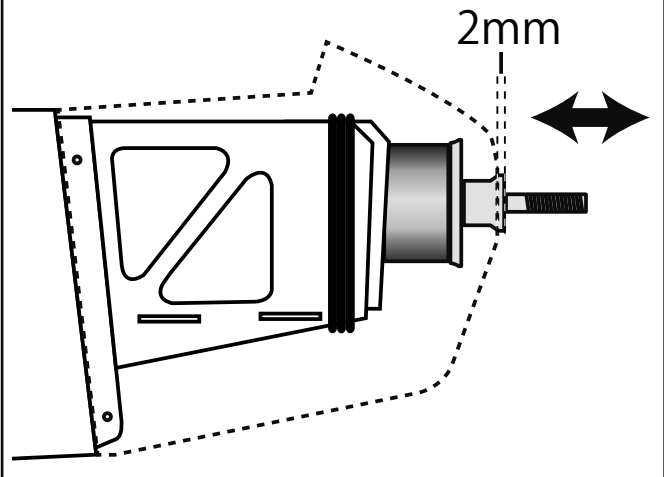


- ハッチ&キャノピーを仮おきしカウリング固定位置を調整。

- 図の位置に4カ所2.2mmドリルで下穴をあけて、**2.6 × 12 タッピングビス**でカウリングを固定します。

6

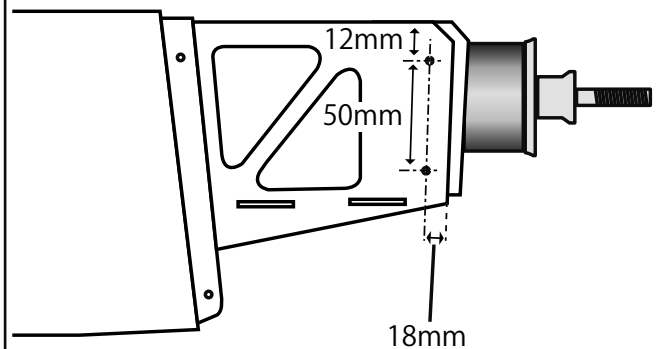
- カウリングとスピナーが接触しないように2mm以上スキマができるように、モーターマウントを前後させて調整します。



7

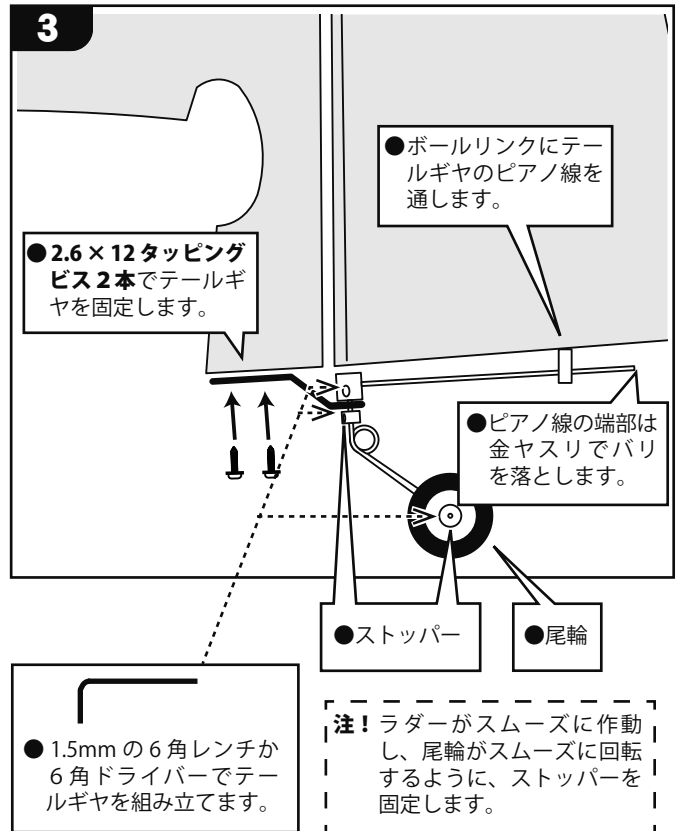
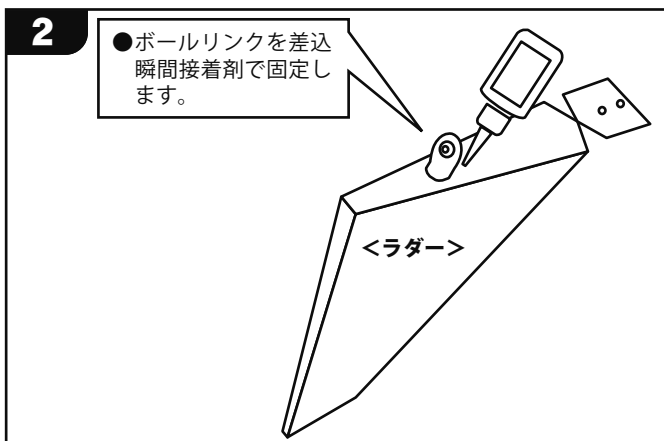
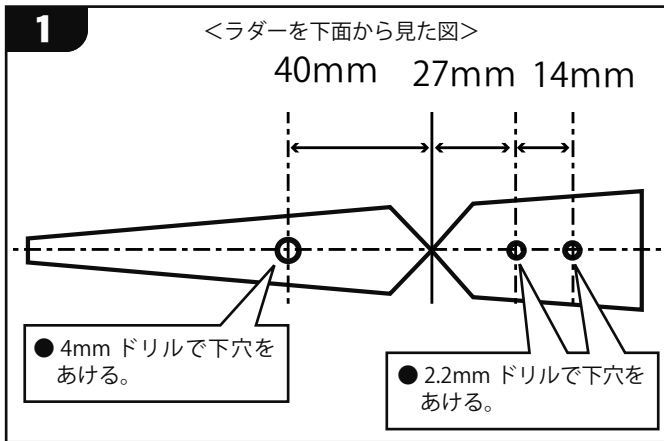
- 位置決めしたモーターマウントがズレないようにカウリングをはずして、モーターマウントを**2.6 × 12 タッピングビス4本**で固定します。

- 図の位置に4カ所2.2mmドリル下穴をあけて、**2.6 × 12 タッピングビス**でモーターマウントを固定します。

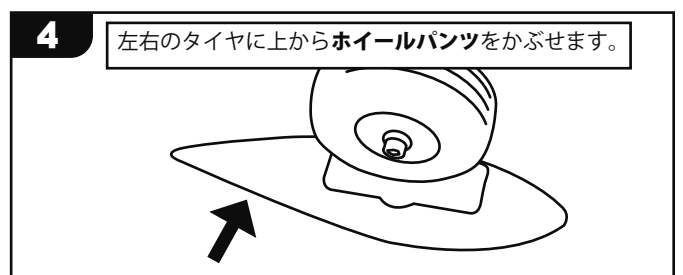
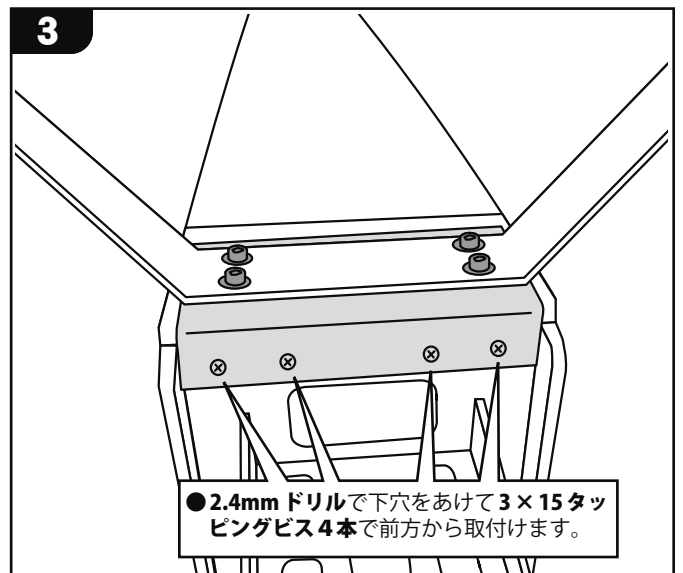
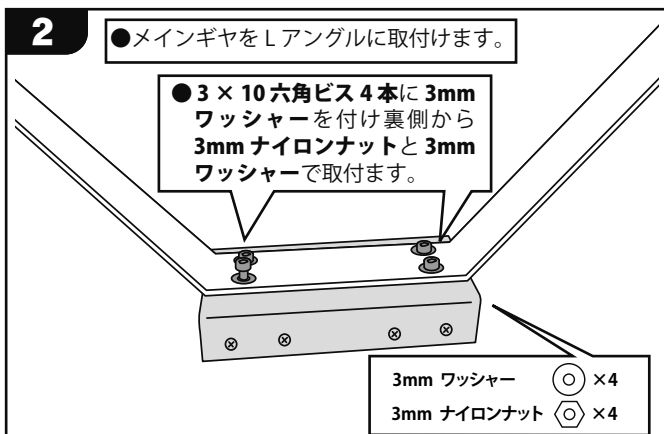
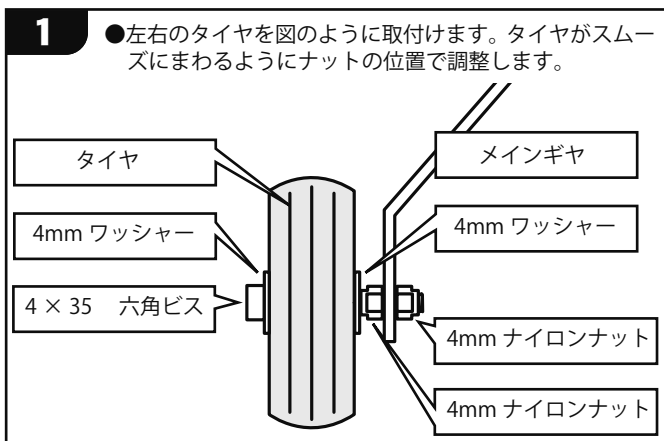


- モーターマウントを固定したら、仮固定に使用した輪ゴムかセロテープを取り除きます。

7 テールギヤの取付



8 メインギヤの取付



5

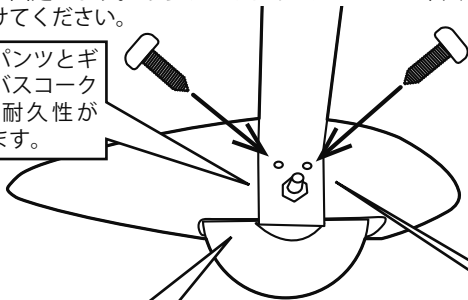
●左右のホイールパンツと胴体がほぼ平行になるように取り付けてください。



6

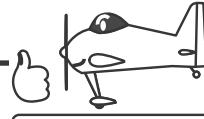
●内側から2×6タッピングビス2本でホイールパンツを固定します。あらかじめホイールパンツに下穴をあけてください。

ホイールパンツとギヤの間にバスコークを塗ると耐久性がアップします。



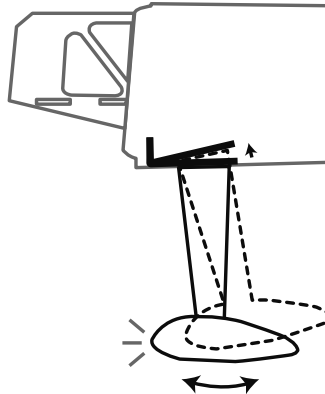
ホイールパンツにタイヤが触れてしまう場合はリューターなどでホイールパンツの穴を大きめに広げます。

ビスが入りにくい場合はドリルでメインギヤの穴径を広げてください。



スカイリーフ ワンポイントアドバイス

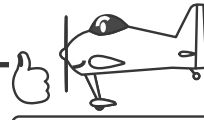
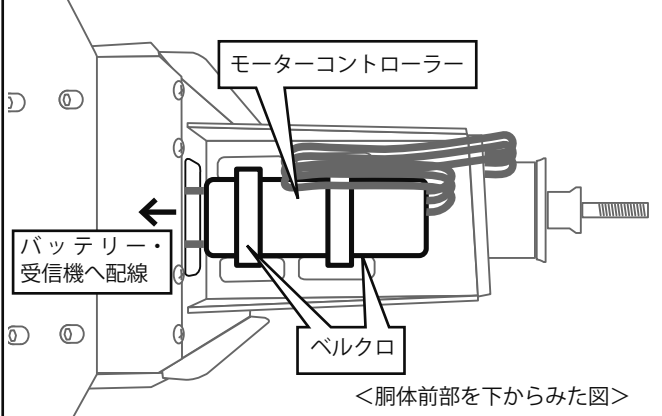
新開発Lアングルが着陸のショックを吸収して、やさしく機体をまもるよ!



9 モーターコントローラー・受信機・バッテリーの取付

1

●機首のカウリング内下部にベルクロなどを使用してモーターコントローラーを取付けます。



スカイリーフ ワンポイントアドバイス

動力バッテリーは使う種類によって重量がちがうので、最後に指定の重心位置になるように、搭載する位置で調整しよう!

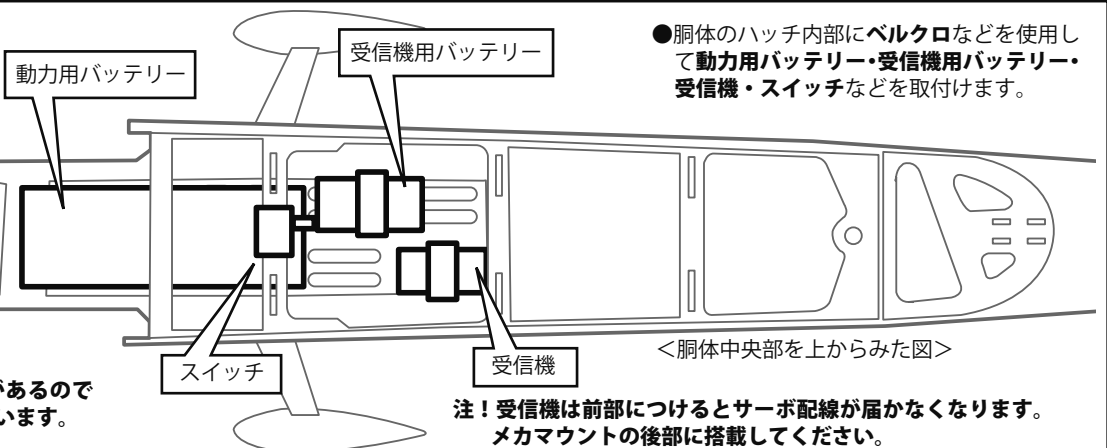


送信機によってモーターコントローラーのCHをリバースにしなければならない場合があります。はじめに、プロペラをつけないでモーターをまわして方向を確かめてください。
■不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

2

●胴体のハッチ内部にベルクロなどを使用して動力用バッテリー・受信機用バッテリー・受信機・スイッチなどを取付けます。

動力用バッテリーは毎回つけはずしするので、バッテリー裏面とメカマウントにベルクロを貼り脱着すると便利です。

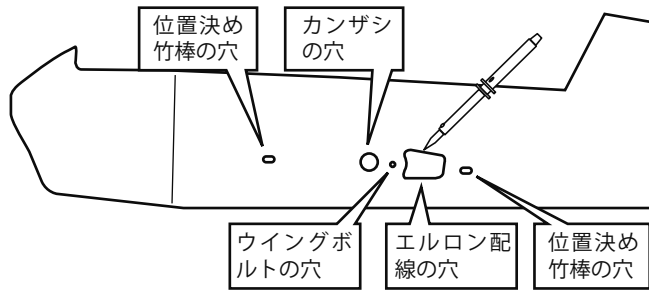


注! バッテリーは重量があるので固定は確実におこないます。

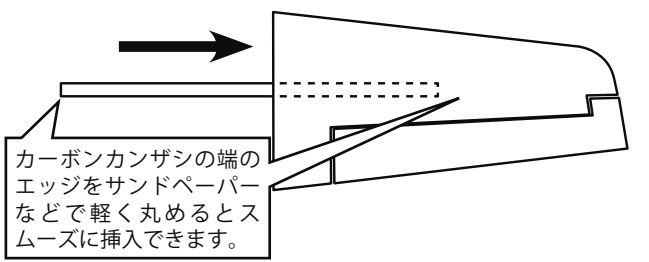
注! 受信機は前部に付くとサーボ配線が届かなくなります。メカマウントの後部に搭載してください。

10 主翼・尾翼の取付

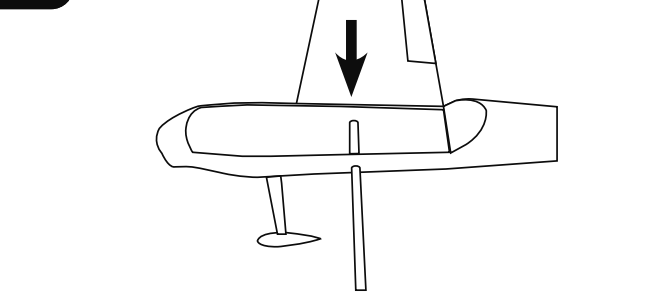
- 1** ●胴体左右の図の部分のフィルムを、はんだコテなどで木地の穴にあわせてカットします。



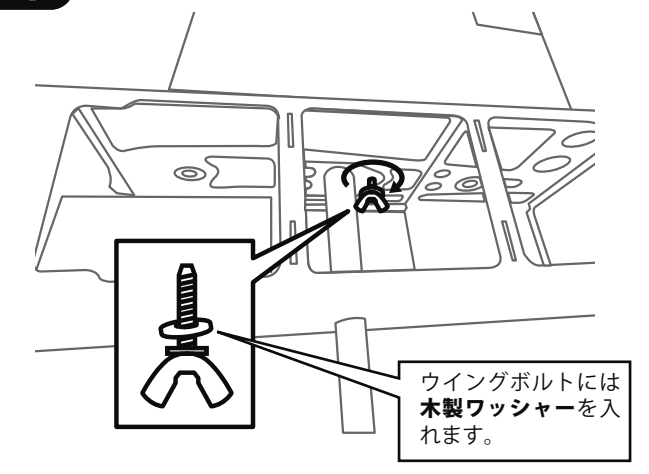
- 2** ●主翼の片方にカーボンカンザシをまっすぐにさしこみます。



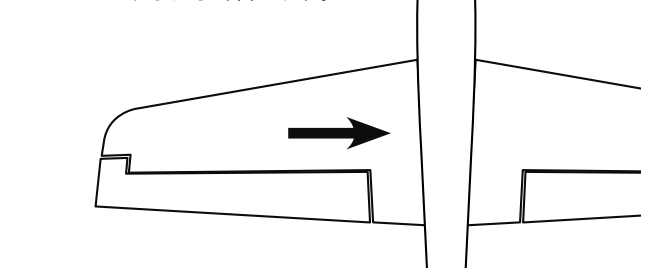
- 3** ●主翼とカンザシを胴体にさしこみます。



- 4** ●胴体内部からウイングボルトで主翼を固定します。



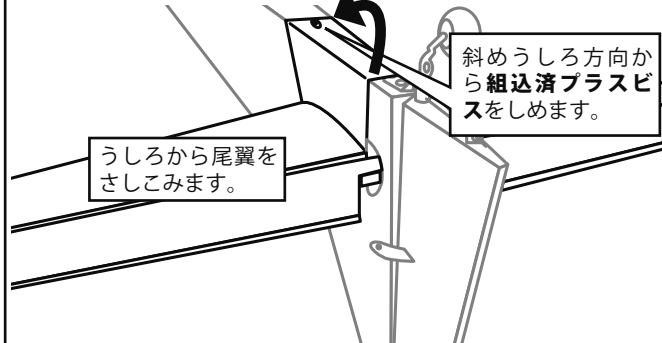
- 5** ●同じようにもう一方の主翼をまっすぐにさしこみウイングボルトで留めます。



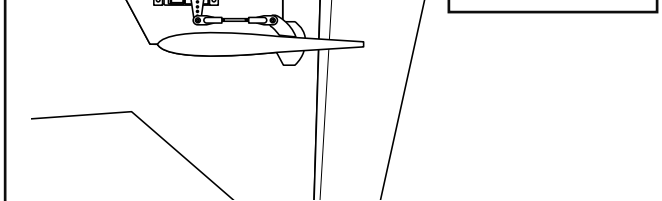
⚠ カarbonカンザシの主翼への挿入ですが、湿度や温度により入りにくい場合があります。ムリに押しこんだり、斜めに挿入すると、主翼の部品が破損しますので、注意してください。
■主翼内部の部品が破損すると空中分解で墜落する危険性があります。

⚠ 飛行時の組み立てのとき、ウイングボルトの締め忘れに十分注意してください。
■ウイングボルトをしめ忘れると空中分解で墜落する危険性があります。

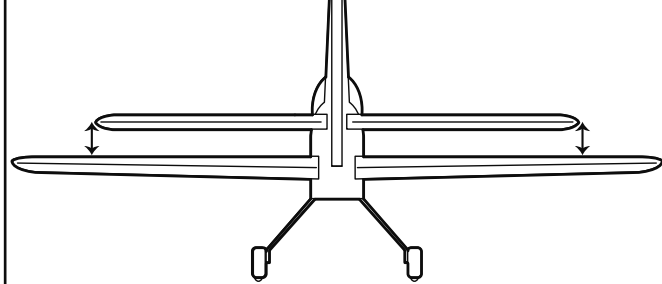
- 6** ●下部後ろから尾翼(+尾部カバー)をさしこみ、尾部カバーにあらかじめ付いている**プラスビス**をしめ、尾翼を固定します。



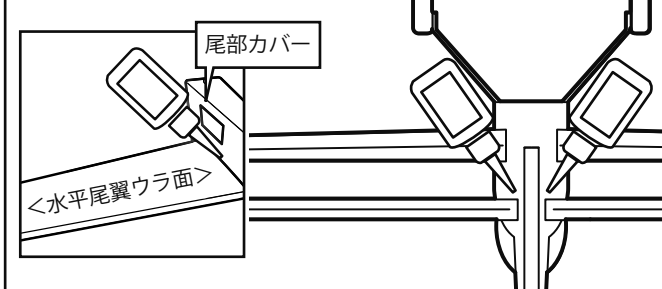
- 7** ●このプラスビスのつけはずしで、完成後も水平尾翼の脱着が可能です。



- 8** ●後ろからみて主翼と水平尾翼の傾きを平行にします。



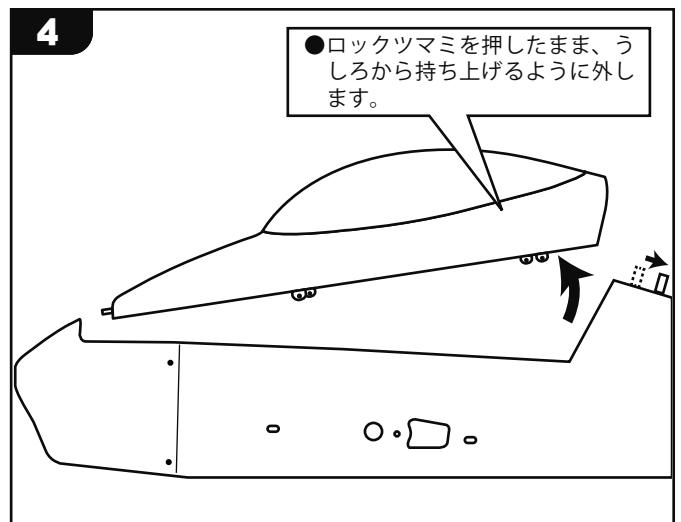
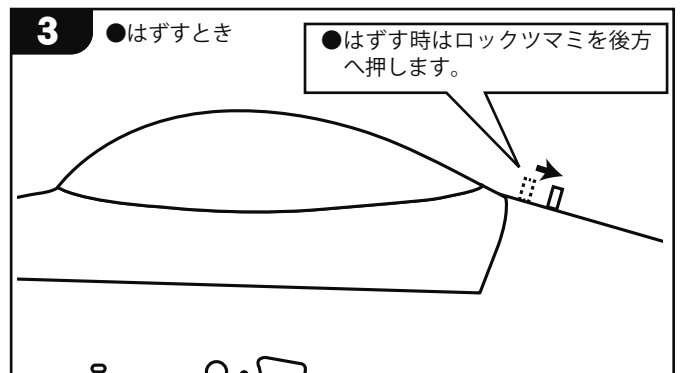
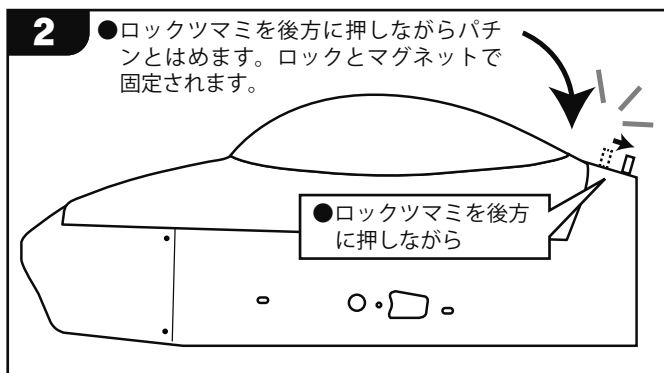
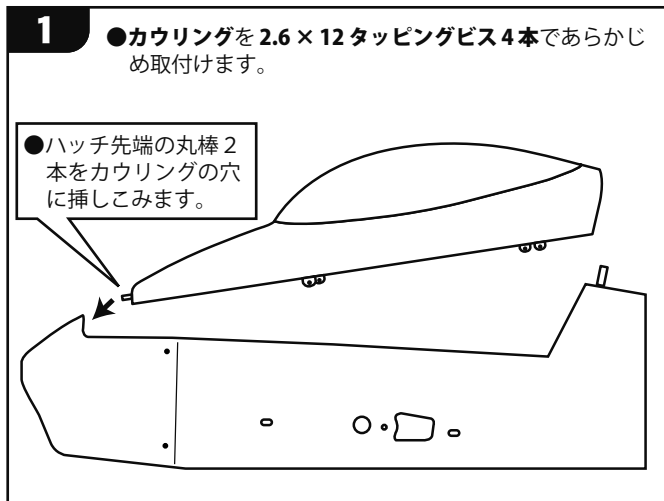
- 9** ●平行をみながら仮止めだった水平尾翼と尾部カバーを瞬間接着剤で**本接着**します。



⚠ 注! 尾部カバーと胴体の間に瞬間接着剤がながれてしまうと後で尾翼をとりはずしてメンテできなくなるので、注意しましょう。

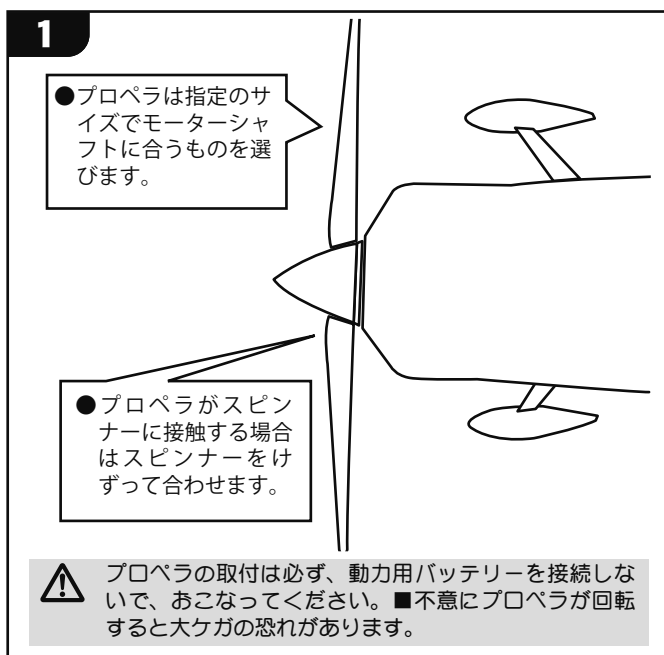
✖11 キャノピー&ハッチの取付

取付の工作は不要です。取付（取り外し）方法を説明します。



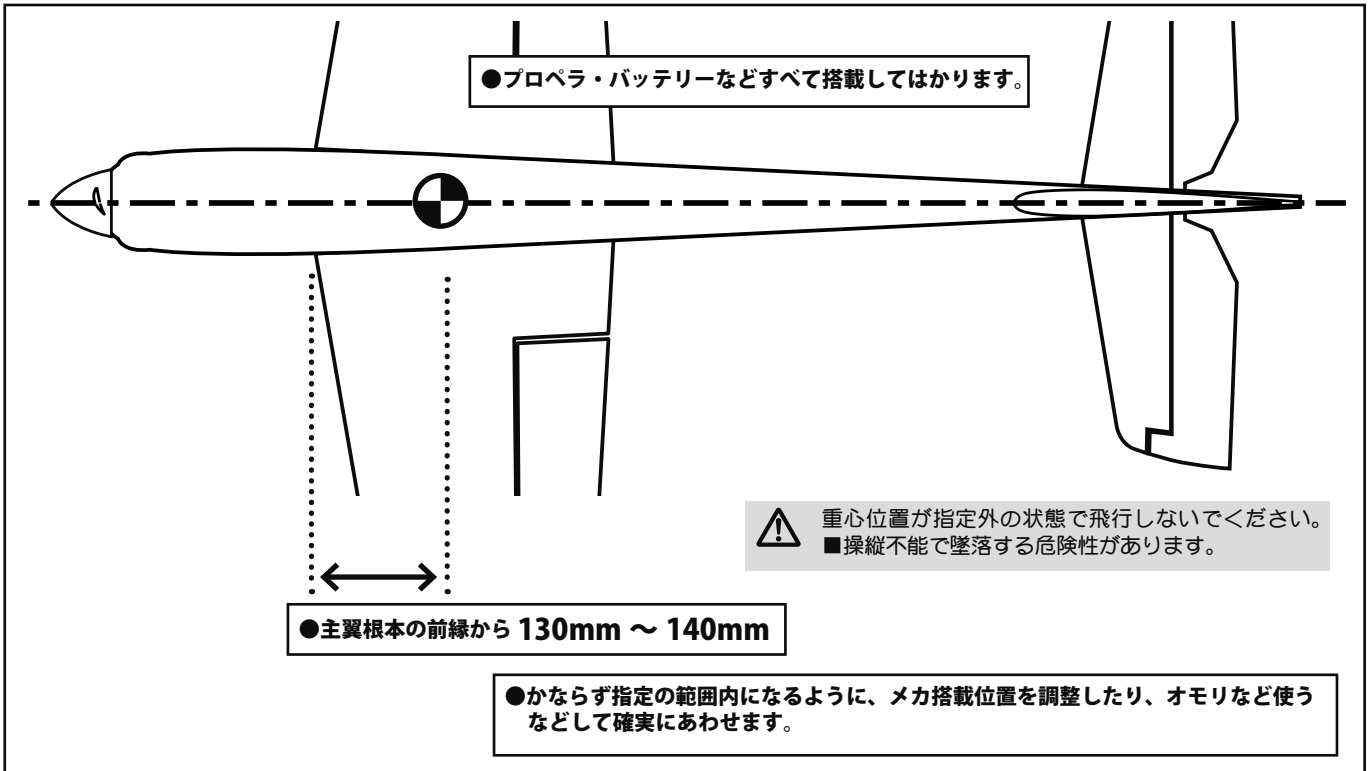
✖12 プロペラ・スピナーの取付

プロペラ・スピナーは別売です。それぞれの説明書にしたがって確実に取付けます。



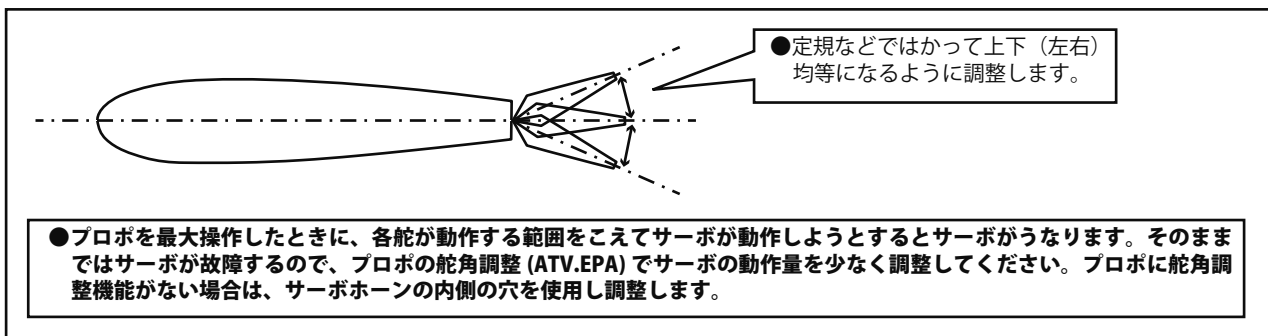
➤13 重心位置をあわせる

これで、組立は完成しました。重心位置は飛行機にとって重要ですので、確実にあわせませす。

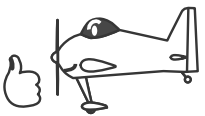


➤14 舵角をあわせる

それぞれの舵の方向を確認してプロポのリバース機能であわせませす。また、それぞれの舵角を定規などではかって上下左右均等になるように、プロポの舵角調整機能 (ATV.EPA) で調整します。



はじめは少ない舵角でフライトしてください。■大舵角は不意の失速で墜落する危険性があります。



スカイリーフ ワンポイントアドバイス

プロポのデユアルレート (D/R) をつかって、大小2つの舵角を設定すると便利だよ!! 普段は少ない舵角で飛ばして、アクロ飛行時に大舵角にきりかえるんだ! 参考にボクの舵角セットを覚えておくれ!! ポイントは大舵角のときはエキスポネンシャル (EXP) のマイナスをふやすこと。大舵角でニュートラル付近が過敏になるのをおさえるのさ!

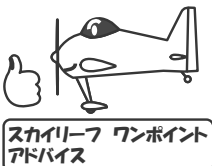
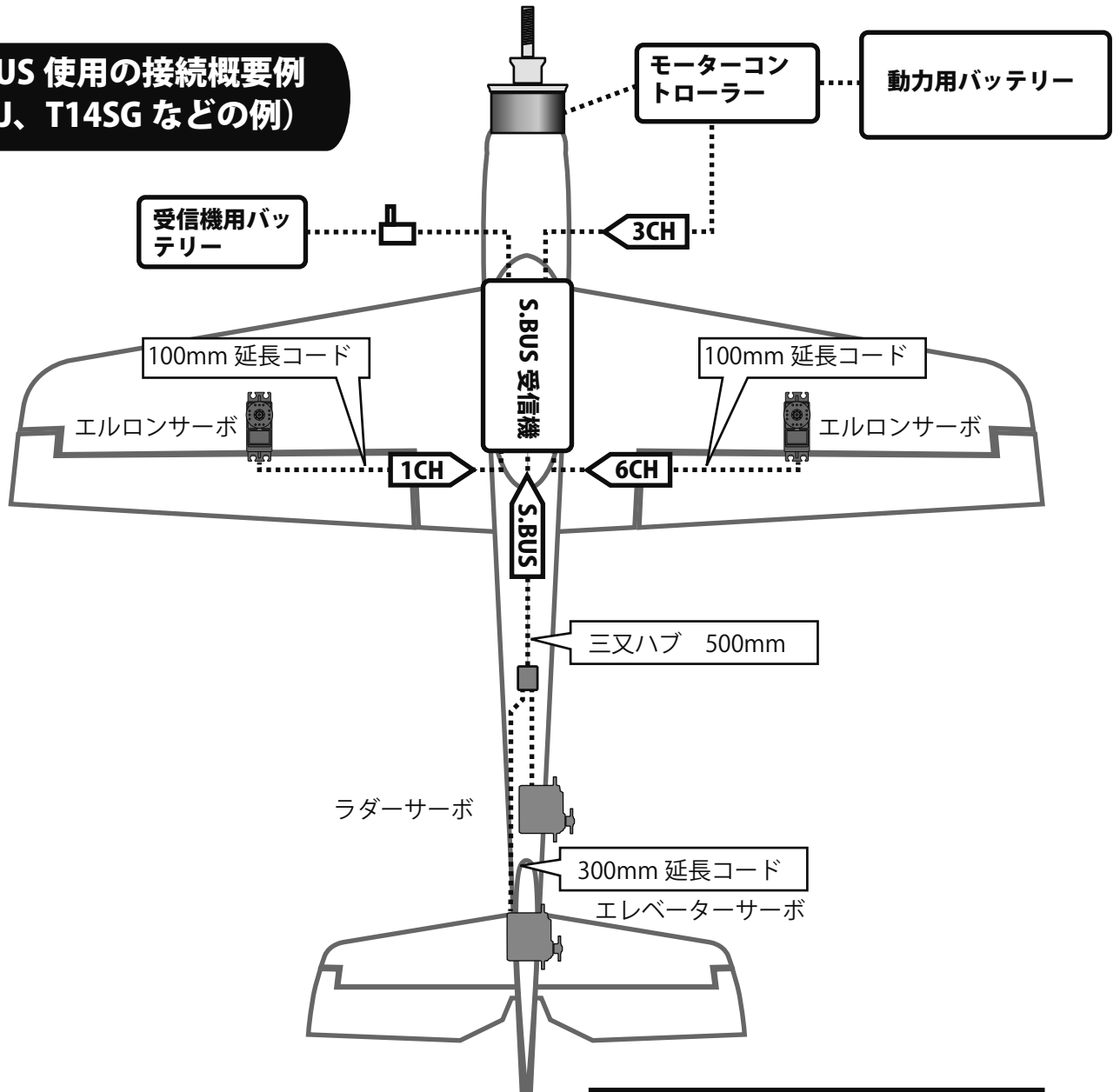
●通常 (小舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 50%	エレベーター 50%	ラダー 120%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -45%	エレベーター -25%	ラダー -40%
●アクロ (大舵角) :	(デユアルレート)	エルロン 100%	エレベーター 110%	ラダー 120%
	(エキスポネンシャル)	エルロン -80%	エレベーター -80%	ラダー -40%

15 メカ配線

プロポは別売です。それぞれ使用するプロポの説明書にしたがって配線・調整してください。

⚠ 送信機によってモーターコントローラーのCHをリバースにしなければならない場合があります。はじめに、プロペラをつけずにモーターをまわして方向を確かめてください。
 ■ 不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

S.BUS 使用の接続概要例 (T8J、T14SG などの例)



スカイリーフ ワンポイント
アドバイス

S.BUSを使用する場合は、あらかじめサーボにCH設定して、それぞれのサーボに自分が何CHかを、記憶させる必要があるよ。

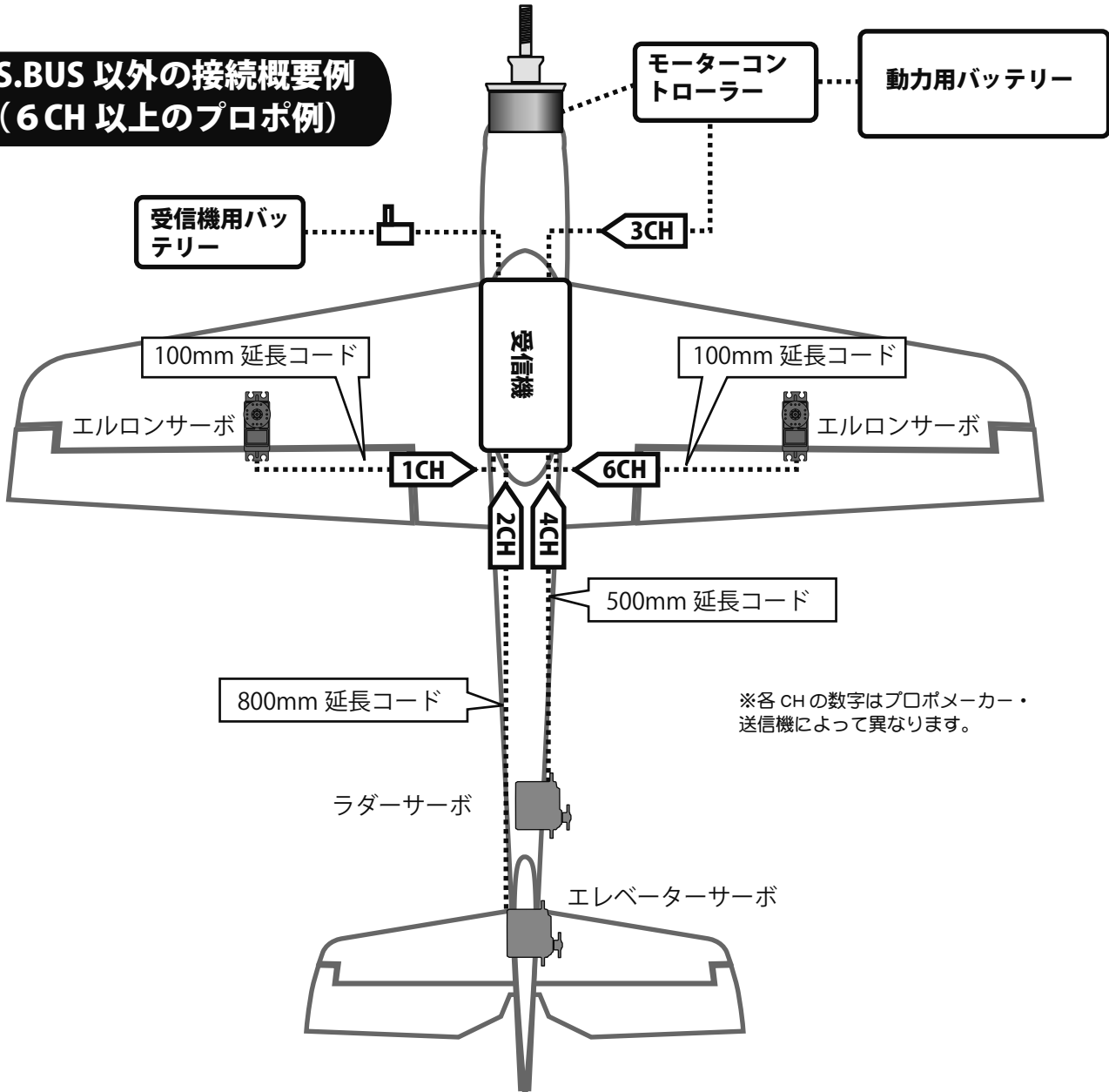
必要な配線

- サーボ延長コード 100mm × 2
- サーボ延長コード 300mm × 1
- S.BUS 三又ハブ 500mm × 1

T8JなどS.BUSサーボのCH設定ができない送信機は、**SBC-1** (S.BUSチャンネルチェンジャー)が必要です。

⚠ 送信機によってモーターコントローラーのCHをリバースにしなければならない場合があります。はじめに、プロペラをつけずにモーターをまわして方向を確かめてください。
 ■ 不意にプロペラが回転すると大ケガの恐れがあります。

**S.BUS 以外の接続概要例
 (6CH 以上のプロポ例)**



スカイリーフ ワンポイント
 アドバイス

エルロンを2つのサーボで動作させるプロポの機能（エルロンティアレンシャル、フラップベロン、モデルタイフ2AILモードなど）を使用しよう！

- 必要な配線**
- サーボ延長コード 100mm × 2
 - サーボ延長コード 500mm × 1
 - サーボ延長コード 800mm × 1

16 テクニカルデータ

機体名	: スカイリーフ サンバ
全長	: 1400mm
全幅	: 1480mm
主翼面積	: 40.33d m ²
主翼翼厚	: 完全対称 13.2%
サイドスラスト	: 2.5°
ダウンスラスト	: 1.0°
全備重量	: 2400g ~ 2900g
設計・テストフライト	: Futaba フライトスタッフ
S3072HV (S.BUS/ハイボルテージサーボ):	
●スピード	0.17sec/60° (6.6V)
●トルク	5.8kgf・cm (6.6V)
●サイズ/重量	40 × 20 × 38.1mm / 42g
●電源	DC6.0V ~ 7.2V (乾電池使用不可)

Futaba フライトスタッフの戦歴

音田哲男 (おんだてつお) :

2003 ~ 2013 RC 曲技日本選手権 11 連覇
2004 ~ 2012 RC 曲技アジア・オセアニア大会 5 連覇
2005, 2011, 2013 RC 曲技世界選手権 2 位
2007, 2009 RC 曲技世界選手権 3 位
2013 室内電動 RC 曲技世界選手権 3 位

秋葉洋一郎 (あきばよういちろう) :

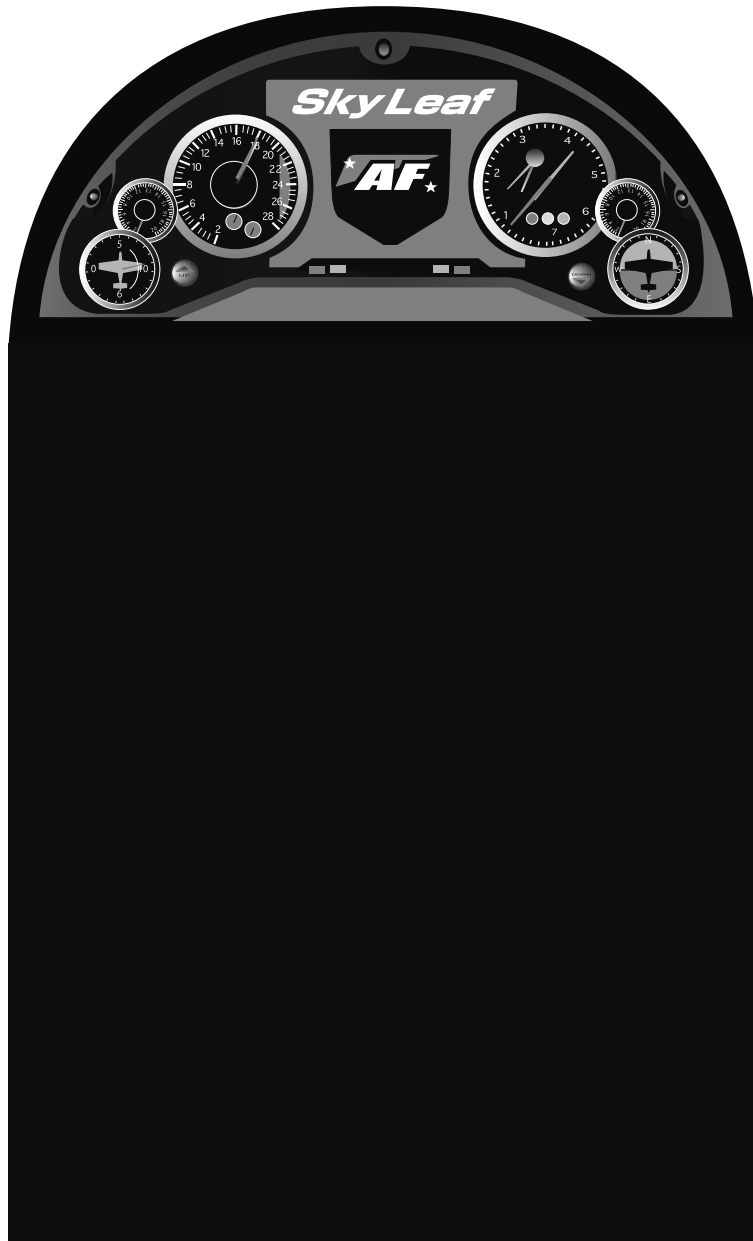
RC 曲技日本選手権 優勝 4 回
RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝 2 回
RC 曲技世界選手権 4 位
RC 曲技世界選手権 団体優勝 5 回

鈴木貢司 (すずきこうじ) :

RC 曲技日本選手権 連続 31 回出場
RC 曲技世界選手権 7 回出場
2000 RC 曲技アジア・オセアニア大会優勝
2013 RC 曲技世界選手権 7 位
2012 RC 曲技日本選手権 3 位
2013 RC 曲技日本選手権 2 位

✎18 コックピットのダウンロード

FutabaのWEBサイト(<http://www.futaba.co/jp/>)のホビー用ラジコンからスカイリーフのコックピット画像をダウンロードできます。厚手の紙にカラープリントして、切り抜いてキャノピー&ハッチ内部に貼り付けてご使用できます。



スカイリーフ ワンポイント
アドバイス

パソコンでカラープリントして
貼り付けると俄然カッコよくな
るよ！ぜひ使ってね！！

付属のステッカーも表紙の写真を参考にセンスよく
貼ってね♪

これでスカイリーフ サンバの完成だ！！

それでは楽しいフライトを !!!

